

ピッコ

3

2015年 No.339
平成27年3月



酪友会役員研修会 2
平成26年度第4回地区別学習会
平成26年度北海道青年農業者会議・プロジェクト発表 3
久々の懐かしい味におなかも大満足
ニューイヤーモーターショーin とかち開催 ... 4
シカ囲いワナ設置
減らない頭数に唖然
野塚小学校閉校式～113年の歴史に幕～ 5
融雪時期の家畜ふん尿の処理及び管理について

JAひろお年金友の会観劇湯治旅行 6
JAひろお女性部すみれ会第34回定期総会
JAひろお女性部第62回通常総会 7
豊栄会募集広告
JA青年部広尾線ブロックスポーツ交流会開催される 8
主役は旬の新鮮食材
理事会 9
表紙インタビュー・占い 10
食のはなし 11
背表紙 (JAマイカーローン) 12

酪友会役員研修会

1月16日、広尾町農村環境改善センターにおいて酪友会役員研修会が開催され、雪印メグミルク㈱、J.A.ひろお、農業改良普及センター、酪農家ら20名が参加しました。

広瀬孝雄会長の挨拶のあと、雪印メグミルク㈱大樹工場の柴田工場長より同社の本年度の経営状況などに関して説明がありました。

雪印メグミルクグループでは、将来を見据えた工場の再編と物流拠点の集約が進められ東京と千葉の工場が神奈川県川島の海老名工場へ、横浜、関西、厚木の工場が茨城県の阿見工場へと統合され、製造能力の強化と効率化を図っているとのことでした。

また、大樹工場では「カマンベール」や「さけるチーズ」など年間8,000トンのチーズ製品を製造しています。中標津工場と役割を分担しながら効率的に進めており、最近特にカマンベールの売れ行きが非常に好調で、両工場ともフル稼働で製造しています。両工場ともフル稼働であるとのことでした。

つづいて、同社酪農部、北村課長より最近の酪農概況について報告があり、道内の生乳生産が伸び悩んでいる中、本町では11月中旬より生産量が上向き、直近の1月上旬では日量105.1%と順調に推移しており、生産者の努力



に敬意を表するとともに、市況では全国的に生乳が不足している状況を踏まえ、スーパーマーケットでは特売自粛を行うところもあるなど、依然としてバター品の薄感が高い状況にあるとのことでした。

雪印種苗㈱帯広営業所、岩橋所長からは飼料価格情勢の報告があり、最近の価格推移と中国の輸入規制や米国の飼料用とうもろこしの反収増加、原油価格の下落によるエタノール需要の低下などを背景として、今後の価格は比較的軟調に推移することが予想されるとのことでした。

研修終了後は、昼食を交えながら今後の課題や酪農情勢などについて意見交換が行われ、とても有意義な研修会となりました。

平成26年度

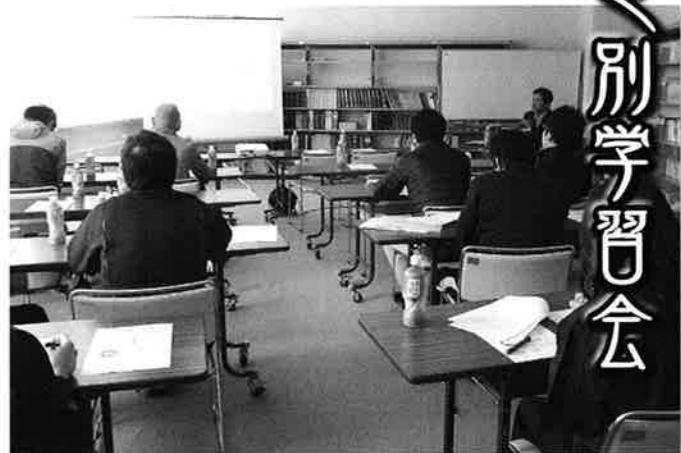
第4回 地区別学習会

2月13日・19日の両日、新生・野塚地区と紋別・東豊似地区の各地区研修センターにおいて、十勝農業改良普及センター南部支所 海田佳宏氏を講師に招き、「優良事例における乳牛繁殖管理技術および周産期病予防対策のポイント整理」をテーマとして学習会が開催され、町内の生産者ら32名が参加しました。

研修内容として、普及センターにて十勝管内の優良農家を調査したデータを参考に、施設のスライドと資料を交えて行われました。

農場概要が搾乳牛飼養方式は、タイストール2戸、フリーストール7戸、フリーバーン1戸の、10戸で平均分娩間隔411日、平均個体乳量10、500kgの農場で次の10個のポイントが紹介されました。

- ① 乾乳牛の飼養密度に留意している
- ② 乾乳牛の群分管理が徹底されている
- ③ 乾乳期から産褥期の良質乾燥（ラック）給与と栄養管理
- ④ 分娩ストレスの低減
- ⑤ 産褥から立ち上がりの個体観察、対処法の確立
- ⑥ 発情観察の徹底
- ⑦ 繁殖記録方法の工夫
- ⑧ 繁殖障害の早期対策
- ⑨ 安産性の向上
- ⑩ 蹄病・暑熱対策の徹底



すべての農場で重点的に行われていたことは、乾乳後期の密飼いを避け、十分な採食スペースと休息スペースの確保に留意し、飼養密度については7割程度と厳守されておりました。また、タイストール牛舎で飼養していた農場は、1頭おきに繋留し十分な住居スペースを供給していたとのことでした。

蹄病対策として印象的だったことは、フリーストール牛舎の戻り通路で、砂を踏ませることににより蹄病（PDD）が減少したという事例も紹介され、参加された方々は熱心に聞き入っていました。

今回の学習会の資料は農業支援課にありますので、具体的な内容に興味のある方はお問い合わせください。

平成26年度 北海道青年農業者会議・プロジェクト発表

1月29日～30日の2日間、札幌市の北海道自治労会館において、北海道青年農業者会議・プロジェクト発表が行われ、鈴木敏文さんが十勝の代表として発表を行い、畜産経営部門において見事、最優秀賞に選ばれました。

発表は、「鈴木VICTORY」と題し、海外研修を経て平成19年に就農した後、平成22年にサルモネラ病の発症を経験し、「予防は最大の治療」という言葉に出会ってから、家族や関係機関等の協力を得ながら経営改善に向けて様々な取り組みを行ってきた結果、現在は農業所得率もV字回復を達成したという内容をグラフや写真を交えて説明されました。

なお、鈴木敏文さんは、今回の受賞により、3月3日～4日の2日間、東京都で開催される全国青年農業者会議・プロジェクト発表に、北海道の代表として参加する事が決定致しました。



久々の懐かしい味に皆さんも大満足

2月19日、JA広尾外国人研修生受入農家連絡会（川崎和雄会長）主催による中国のお正月にあたる「春節」が賑やかに南カワサキファームの技能実習生宿舎で行われました。「春節」は旧暦のお正月で中国では重要な日とされており、特別なこ

とを行わない新暦のお正月に代わり盛大にお祝いする日となっております。当日は、受入農家の協力で朝早くから技能実習生が集まり夏季交流会以来、久々に会う同期入国や同郷の人達との再会を喜んでおりました。

今年は、受入農家連絡会の計らいから、中国ではお祝いに食べられる「火鍋（しゃぶしゃぶと寄せ鍋を合わせた様な感じ）」が準備され、基本調味料も中国から輸入したものを使ったため久々の懐かしい味に感激し、美味しそうに食べていました。

食後は、同郷者や同期入国者がグループとなり、特に一人で頑張っている実習生は思いっきり中国語で賑やかにおしゃべりを楽しんでいました。

農業振興課は、外国人技能実習生と受入農家並びに労力確保に向けた各種支援も行っていますのでお気軽にお問い合わせ下さい。



野塚小学校閉校式

～113年の歴史に幕～



2月15日、今春で閉校となる野塚小学校で閉校記念式典と惜別の会が開かれ、在校生18名と卒業生や地域住民など200人が出席し、113年にわたる歴史に幕を閉じる母校との別れを惜しみました。

記念式典では海峰達也校長より「この学校で学んだことを忘れず、いつまでも心の中に野塚小を残して下さい。」と挨拶があり、惜別の会では、堀田成郎町議会副議長より「どうせ無理だから、とあきらめないでほしい。夢は必ず叶うものと信じて最後まで頑張ってください。」と児童や卒業生に向け力強く語りかけられました。参加した卒業生の中には、遠方より駆けつけたなつかしい顔ぶれもあり、皆笑顔で母校の思い出話を花をさかせていました。学校行事を映したスライドが上映され、在校生によるYOSAKOIソーラン演舞が元気いっぱい披露され、最後は児童たちと共に出席者全員で「故郷」を合唱しました。

同校は1901年（明治34年）に開校し、ピーク時には232人の児童がいましたが、児童数の減少により4月から広尾小学校に統合となります。

融雪時期の家畜ふん尿の処理及び管理について

家畜排せつ物法の施行により家畜排せつ物の適正管理が義務化され、組合員の皆様におかれましては日頃より家畜ふん尿について適正管理に努められていることと思います。

春先は雪解け水と一緒に河川や道路側溝などに家畜ふん尿が流出する危険性が高くなります。

家畜ふん尿の処理及び管理について、今一度、管理状況をご確認の上、引き続き適正管理に努めていただきますようお願い申し上げます。

ミニイヤーモーターショーが開催

1月24日～25日、第14回ミニイヤーモーターショーinとかちが音更町アグリアリーナで開催されました。展示台数185台、軽自動車や普通乗用車、貨物等の多種多様な車両が並べられた中、最近の主流であるハイブリット車やノスタルジックな趣きを持ちながら内部は最新の自動車等12社各メーカーの個性を主張した魅力ある車両が一同に揃い、家族連れで賑わうミニバンブースや、燃費の良い車を探す年配のご夫婦等が会場を沸かせておりました。



2日間の来場者数は687名、契約数は新車45台、中古車30台と例年になく不調でありましたが、経費と燃費が抑えられる軽自動車に好調だったことで今の時代を感じられました。両日ともあいにくの強風でありましたが、晴天に恵まれ多数の方々に来場していただき盛況のうちを終了いたしました。

◇シカ囲いワナ設置◇



11月17日、18日の2日間をかけて、広尾町鳥獣被害防止対策協議会主催のもと、エゾシカによる食害軽減を目指し、囲いワナを折笠牧場敷地隣りに設置しました。冬期間は餌となる牧草が無いいため、サイレージ等を求めて出没する機会が多くなります。囲いワナ内に餌を置き、出入りを自由にすることで警戒心が薄れ、安全であると覚えさせます。カメラで監視しながら、エゾシカが入った時点で遠隔操作によりゲートを降ろし、エゾシカを閉じこめるとい仕組みです。2月中旬までに16頭の駆除に成功しており、囲いワナは3月末頃まで設置される予定です。

◇減らない頭数に唖然◇

2月22日、広尾町鳥獣被害防止対策協議会によるエゾシカ一斉駆除が広尾町猟友会の協力により行われました。当日は天候に恵まれ、同支部長の田中巧氏より「矢先をきちんと確認し、無事故が無いうよう十分注意して頂き、無事に終了しましょう。」との挨拶があり、今回の一斉駆除に対する作戦説明が行われ、事前に決められた班編制により駆除が開始されました。エゾシカの生息頭数が多いことからピラオトリ林道奥にて実施され、駆除頭数は10頭となり、3月1日に再度行うこととなりました。

猟免許取得に係る費用の一部助成を行ってまいりますので、ご希望の方は広尾町農林課または農業振興課までお問い合わせ下さい。



同協議会では、くくり罠の貸出や狩

観劇湯治旅行

2月4日～6日までの3日間、年金友の会恒例の観劇温泉湯治旅行が十勝川温泉笹井ホテルで行われました。

広尾をバスで出発した一行は、お昼にはホテルに到着し、昼食を頂いてから、お目当てのお芝居と舞踊ショーを楽しみました。

今回は「宝海劇団」による公演で、始めに笑い涙の人情芝居が行われ、劇団若手花形の名演技に客席から威勢の良い掛け声が飛び、感動的な場面では涙ぐむお客様もいました。

後半は舞踊ショーが行われ、劇団員が色艶やかな衣装を身にまとい華麗な舞踊を披露、観客を魅了しました。夕食はホテル自慢のバイキング料理に舌鼓、久しぶりに会う仲間とお芝居の話や近況を報告し合い親睦を深めました。



今年は無舞踊ショーのみ夜の公演があり、再び美しく華麗な舞を堪能することができました。

2日目は、昼間のお芝居・舞踊ショーの後、お座敷での懇親会を行い、カラオケやビンゴゲームで大いに盛り上がりしました。

今年もおいしい料理と温泉に浸かり、会員同士が楽しく交流することができました。

年金友の会では今後も各種行事を予定していますので、多数の参加をお待ちしております。

また、新入会員も随時募集しておりますので、入会を希望される方は金融・共済課までお問い合わせ下さい。

第62回 通常総会

2月6日、広尾町農村環境改善センターにおいて、第62回通常総会が行われました。

古岡部長の挨拶の後、来賓の萬亀山組会長、野田副町長、十勝農業改良普及センター十勝南部支所中野所長より祝辞をいただきました。

議長に山本和美さんを選出し議事に入り、平成26年度事業報告・収支決算報告があり、平成27年度事業計画では活発に意見や提案が出されました。また、役員改選では新部長に紋別地区の大庭ひとみさんが選出されました。



新役員の就任挨拶後、JA女性の歌を全員で合唱し、通常総会を終了しました。

女性部では部員皆さんに楽しんでもらえる行事を企画しますので、多くの参加をお待ちしております。なお、新役員は次の通りです。

- | | | |
|------|--------|-------|
| 部長 | 紋 別地区 | 大庭ひとみ |
| 副部長 | 東豊似地区 | 田辺 晃子 |
| 理事 | 野 塚地区 | 古関ゆかり |
| " | 新 生地地区 | 菊地 亜希 |
| " | 東豊似地区 | 川崎 恵 |
| 代表監事 | 紋 別地区 | 北藤真智子 |
| 監事 | 野 塚地区 | 尾崎 美加 |

すみれ会 第34回 定期総会



1月29日、広尾町農村環境改善センターにおいて、すみれ会の第34回定期総会が行われました。

今井会長の開催挨拶の後、JAひろお女性部古岡部長より祝辞をいただきました。

議事に入り、平成26年度の事業報告・収支決算報告があり、平成27年度事業計画では、活発に意見が出されました。また、役員改選では、新会長に鯖江敬子さんが選任されました。総会終了後は新年会に移り、自家製の漬物や手作りのお惣菜を沢山持ち寄りビンゴゲームなどをして、楽しい一日を過ごしました。

なお、新役員は次の通りです。

- | | | |
|-----|-----|-------|
| 会長 | 新生 | 鯖江 敬子 |
| 副会長 | 中紋別 | 今井 悦子 |
| 幹事 | 中紋別 | 小西加代子 |
| " | 広尾 | 横井マツヨ |
| " | 茂 寄 | 早坂佐登子 |
| 連絡員 | 共 栄 | 松木トシコ |
| " | 広尾 | 横井マツヨ |
| " | 暁 | 中川 文子 |
| " | 中紋別 | 田辺 勝子 |



こんにちは！
酪農女性グループ豊栄会です。
豊栄会では、只今、新作人形劇を作成中です。
そこで、私達といっしょに活動してくれるメンバーを募集しま〜す！
興味のある方は、ぜひお気軽にご連絡ください。
連絡先：豊栄会 山本 090-9753-1459